

報告

2014 年いわて花巻空港台湾便就航に関する調査報告 4

——台北での岩手県認知度アンケート調査結果——

Survey on Flights between Taiwan's Taoyuan International Airport
and Japan's Iwate-Hanamaki Airport in 2014 IV :
Levels of Familiarity with Iwate in Taipei

原 英子*
Eiko HARA

Keywords: *Iwate-Hanamaki Airport* *Levels of familiarity with Iwate* *Tourists from Taiwan*
いわて花巻空港 いわたの認知度 台湾からの観光客

1 はじめに

2014 年 10 月 12 日に、台湾国立政治大学台湾原住民族研究センター（臺灣國立政治大學原住民族研究中心）主催の第 7 回日台原住民族研究フォーラム（台日原住民研究論壇）が台北の台湾国立政治大学行政大樓で開催された。学術研究のフォーラムなので、多くは大学の研究者や大学院学生、地方で研究をしている教育関係者などが参加していた。ここでアンケート調査に協力してもらった。29 名から回答を得た。

台湾の人類学会では、明治の初期に、台湾にわたり、台湾総督府の命を受け、人類学的調査に従事し、多くの記録を残した伊能嘉矩は有名である。今回は文化人類学関係のフォーラムでのアンケートをお願いしたが、台湾の人類学で認知度が高い伊能嘉矩について、岩手県遠野の出身者であることが知られている。政治大学原住民族研究センターでは、かつて遠野市立博物館などで伊能関連の資料調査をおこなったこともある。そのとき岩手県以外でも東北各地で資料収集をおこなっている。したがって、岩手県や東北についての認知度が高く、滞在経験のある人たちが、回答者に含まれていることを指摘しておく。

本アンケートは、岩手県県土整備部空港課・観光課等の協働のもと作成された。

2 アンケート結果

以下に質問とその回答結果を記す。

質問 1 居住地

台北市 18 名、新北市 6 名
桃園市、台中市、台東市、基隆市、花蓮県、各 1 名

質問 2 性別

男性 12 名、
女性 17 名

質問 3 年齢

(1)20 歳未満 2 名
(2)20-29 歳 6 名
(3)30-39 歳 8 名
(4)40-49 歳 5 名
(5)50-59 歳 5 名
(6)60 歳以上 3 名

質問 4 職業

(1)会社員 2 名
(2)会社経営者 0 名
(3)個人経営者 1 名
(4)公務員 2 名
(5)専門家(弁護士、大学教員など) 12 名
(6)主婦 1 名
(7)アルバイト 0 名
(8)学生 7 名
(9)無職 0 名
(10)その他(退職) 3 名
無回答 1 名

*岩手県立大学盛岡短期大学部国際文化学科

質問 5 この 5 年間の海外旅行の回数

(1)1 回	8 名
(2)2-3 回	10 名
(3)4-9 回	4 名
(4)10 回以上	4 名
(5)この 5 年間はない	3 名

質問 6 日本への渡航回数

(1)1 回	4 名
(2)2-3 回	9 名
(3)4-9 回	7 名
(4)10 回以上	3 名
(5)以前住んでいた	1 名

質問 7 日本へ行った最近の年

(1)2014 年	11 名
(2)2013 年	5 名
(3)2012 年	1 名
(4)2011 年	2 名
(5)2010 年以前	6 名
(6)行ったことがない	4 名

質問 8 旅行情報獲得手段（複数回答可）

(1)テレビ	10 名
(2)新聞	8 名
(3)インターネット	22 名
(4)その他	7 名

その他としては、友人、旅行雑誌、本、広告、フェイス・ブックという回答がみられた。

質問 9 日本で行ったことがある地域と行きたい地域

表 1 日本で行ったことがある地域と行きたい地域

		行ったことがある(人)	行ってみたい(人)
1	北海道	9	11
2	東北 (青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島、新潟)	8	10
3	北関東 (茨城、栃木(日光、群馬))	6	8
4	首都圏 (埼玉、千葉、東京、神奈川(横浜))	17	8
5	北陸 (富山(立山)、石川、福井)	2	5
6	甲信越 (長野、山梨)	4	6
7	東海・中京 (岐阜、静岡、愛知(名古屋)、三重)	7	9
8	近畿 (滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山)	14	8
9	中国 (鳥取、島根、岡山、広島、山口)	4	8
10	四国 (徳島、香川、愛媛、高知)	5	7
11	九州 (福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島)	6	12
12	沖縄	10	11

質問 10 日本への旅行で使用した空港

表 2 日本への旅行で使用した空港

		入国時	出国時
1	新千歳空港	10	7
2	函館空港	2	3
3	青森空港	1	1
4	秋田空港	1	1
5	いわて花巻空港	0	0
6	山形空港	0	0
7	仙台空港	3	2
8	福島空港	0	0
9	成田空港	13	13
10	羽田空港	11	10
11	中部国際空港	2	3
12	関西空港	10	7
13	広島空港	1	1
14	福岡空港	5	3
15	那覇空港	9	8
16	その他		

16 その他で記述されていた空港名は次のようであった。

入国時 岡山、小松、高松、宮崎、石垣

出国時 岡山、小松、長崎、石垣

質問 11 日本を旅行したとき、どのような観光地に行きましたか。あるいは日本旅行をするときはどのような旅行体験にどの程度関心がありますか。

表 3 興味のある旅行体験

	観光内容	とても興味がある	まあまあ興味がある	どちらともいえない	あまり興味がない	まったく興味がない	無回答
1	歴史文化体験	23	1	0	0	0	5
2	自然	18	4	0	0	0	7
3	祭り	17	3	0	0	0	9
4	世界遺産	21	2	0	0	0	6
5	温泉	15	3	1	1	0	9
6	郷土料理	14	4	2	1	0	8
7	町の散歩、都市観光*	15	5	1	0	0	9
8	郷土芸能体験	11	7	3	0	0	8
9	伝統工芸品体験*	12	7	3	0	0	8
10	買い物	9	6	3	1	0	10
11	雪体験、冬のリゾート*	8	4	2	4	1	11
12	テーマパーク (ユニバーサルスタジオジャパン、ディズニーランド)	7	2	4	4	1	11

(*複数回答あり)

その他としてあげられていた回答は以下のようである。

- ・寺院・神社
- ・日本と台湾に関係する研究者の故郷

質問 12 あなたは岩手県に行ったことがありますか。

- (1)行ったことがある。 8 名
(2)行ったことがない。 16 名

質問 13 あなたは日本の東北地方に行ったことがありますか。

- (1)行ったことがある。 9 名
(2)行ったことがない。 15 名

質問 14 日本の東北地方に行ったことがない方へ東北地方の旅行に関する質問です。

14-1 日本の東北地方を知っていますか。

- (1)知らない 3 名
(2)聞いたことがある 2 名
(3)知っている 7 名

14-2 岩手県を知っていますか。

- (1)知らない 2 名
(2)聞いたことがある 2 名
(3)知っている 8 名

14-3 飛行機の便が少ないので不便だ。

- (1)そうだ 6 名
(2)なんともいえない 7 名
(3)ちがう 2 名

14-4 東北地方への旅行団は費用が高い。

- (1)そうだ 7 名
(2)なんともいえない 6 名
(3)ちがう 3 名

14-5 魅力的な観光資源が少ない。

- (1)そうだ 4 名
(2)なんともいえない 6 名
(3)ちがう 5 名

14-6 台湾メディアでの紹介が少ない。

- (1)そうだ 11 名
(2)なんともいえない 3 名
(3)ちがう 2 名

14-7 行った人があまりよくないと言っていた。

- (1)そうだ 1 名
(2)なんともいえない 4 名
(3)ちがう 9 名

14-8 東北地方にいかないのは日本のそのほかの地域
 がもっと魅力的だから。

- (1) そうだ 6 名
 (2) なんともいえない 6 名
 (3) ちがう 3 名

14-9 (冬の)気候がとても悪い印象がある。

- (1) そうだ 2 名
 (2) なんともいえない 5 名
 (3) ちがう 6 名

14-10 特に理由はない。

- (1) そうだ 6 名
 (2) なんともいえない 6 名
 (3) ちがう 3 名

質問 15 あなたが知っている東北地方の観光地と興味について

表 4 あなたが知っている東北地方の観光地と興味

		行った こと がある	行ったことがない が聞いたことが あり行きたい	名前を聞 いたこと がある	知らないし 興味がない	無回答
1	青森(ねぶた祭りなど)	1	12	11	1	4
2	弘前(桜祭り)*	0	10	9	2	9
3	十和田湖・奥入瀬渓谷	2	8	3	7	9
4	白神山地(世界遺産)	1	9	9	3	7
5	盛岡(さんさ踊り、南部鉄器、わんこそば)	5	4	8	5	7
6	小岩井農場	3	4	7	5	10
7	花巻(花巻温泉、宮沢賢治記念館)	3	8	8	4	6
8	北上(展勝地の桜祭り)	0	8	5	5	11
9	狹鼻溪の舟下り、巖美溪	2	7	7	4	9
10	平泉(世界文化遺産)	1	8	7	5	8
11	遠野(とおのふるさと村) *	6	7	6	5	6
12	浄土ヶ浜(陸中海岸国立公園)	0	9	6	5	9
13	八幡平(国立公園)	0	8	6	5	10
14	龍泉洞(日本三大鍾乳洞)	1	7	7	4	10
15	久慈(NHK 朝の連続テレビ小説「あまちゃん」)	0	10	8	2	9
16	秋田(竿灯祭り)	0	13	6	1	9
17	田沢湖・角館(桜、武家屋敷)	1	11	6	3	8
18	松島	3	9	5	4	8
19	仙台市	5	12	7	2	3

(* 複数回答あり)

質問 16 今後、もし「日本の東北地方」へ旅行するとしたら、どのような旅行に興味がありますか。すべてを教えてください。

表 5 日本の東北地方への旅行の興味と程度

	観光内容	とても興味がある	まあまあ興味がある	どちらともいえない	あまり興味がない	まったく興味がない	無回答
1	歴史文化体験	23	1	1	0	0	4
2	自然	18	4	2	0	0	5
3	祭り	19	4	1	0	0	5
4	世界遺産	22	4	1	0	0	2
5	温泉	19	4	2	0	0	4
6	郷土料理	17	5	2	0	0	5
7	町の散歩、都市観光	19	6	0	0	0	4
8	郷土芸能体験	13	9	1	0	0	6
9	伝統工芸品体験	14	9	2	0	0	4
10	買い物	12	5	4	2	0	6
11	雪体験、冬のリゾート	10	6	5	1	1	6

質問 17 これまでお尋ねしてきた項目の内容以外で、あなたが日本の東北地方や岩手県にどのような印象を持っているのか教えてください。

- ・景色がきれい。
- ・冬の景色が美しい。
- ・雪
- ・寒い
- ・食べ物がおいしい。
- ・青森のりんごは甘い。
- ・歴史的な場所が多い。たとえば後藤新平の故郷。
- ・人が優しい。
- ・台湾人にやさしい。
- ・歴史と文化に見るべきものが多く、学ぶべきことが多い。特に世界遺産をみてみたい。
- ・李登輝元台湾総統が、奥の細道訪問で旅をした所。
- ・郷里の医者的大部分が岩手医専（戦前の岩手医学専門学校、現在の岩手医科大学）の出身でした。とても親切な医師たちでした¹。
- ・伊能嘉矩の故郷です。遠野博物館。
- ・「壬生義士伝」の映画が好きです。男性の役が岩手の人です。
- ・岩手県という名前を初めて聞きました。
- ・岩手県のことをよく知りません。東北地方では仙台市と塩釜市に行きたいと思っています。

3 アンケート結果について

- ・質問 1 居住地については、学術フォーラムが開催され

た台北市が 18 名で 6 割以上、台北近隣の新北市で 2 割以上であった。

- ・質問 2 では、男性が 4 割、女性が 6 割ほどであった。
- ・質問 3 の年齢層も 20 代から 50 代とそれぞれの層に散らばったが、20 歳未満と 60 歳以上がやや少なかった。
- ・質問 4 より、アンケートをおこなったのが、学術フォーラムだったため、大学教員や学生が多かった。
- ・質問 5 ではこの 5 年間の海外旅行の回数を聞いた。2-3 回というものがもっとも多かった。また、海外旅行をしていないものは 3 名と 1 割ほどで、9 割は海外旅行にいつている。
- ・質問 6 の日本への渡航回数であるが、2-3 回がもっとも多く 9 名で 31%、4-9 回は 7 名で 24%。10 回以上という者も 3 名 10%いた。また住んでいたという者も 1 名見られた。
- ・質問 7 の日本へ行った年を聞いたが、今年がもっとも多く 11 名。2010 年以前という者も 6 名おり 21%であった。また行ったことがない者は 4 名 14%であった。
- ・質問 8 旅行情報をどこから得るのか、という問いでは、インターネットがもっとも多く 22 名で全体の 76%は、インターネットで情報を得ている。またテレビという者も 10 名で 34%であった。その他のフェイスブックという答えも見られ、全体にインターネットによる情報を取得しているのがわかる。
- ・質問 9 の日本で行ったことがある地域の質問は、もっとも多かったのが首都圏の 17 名、次いで近畿の 14 名、3 位が沖縄の 10 名、それに北海道の 9 名、東北の 8 名と続く。いずれもアンケートをおこなった対象が、大学で研究をおこなっている研究者が多かったので、研究関係の来日が大きなウエイトを占めているのではないかと推測

¹ () 内は筆者が説明のために書き加えた。

される。行ってみたい地域は、九州、北海道、沖縄について、東北は 4 位であった。

・質問 10 日本へ行ったことのある地域を質問 9 でこない、東北地方へ行ったことがある者が 8 名あった。一方、日本への旅行で東北地方の空港を利用した者は、仙台空港、青森空港、秋田空港においてみられた。この人数を比べると、東北地方旅行経験者の数が、東北地方の空港利用者の数を上回っており、東北以外の地域にある空港を利用して、東北地方にはいつていることが推測される。表 2 から入国時と出国時の空港利用は必ずしも同じではないことがわかる。

・質問 11 では、アンケート調査をおこなった人たちの専門性に関連するとおもわれるが、歴史文化体験、世界遺産などへの関心の高さがみられた。反対に関心が低かった項目は雪体験、冬のリゾートやテーマパーク、買い物であった。

・質問 12 では、岩手県に行ったことがある者が 8 名、行ったことがない者が 16 名であった。

・質問 13 では東北地方に行ったことがある者 9 名、行ったことがない者 15 名であった。

・質問 14 は東北地方に行ったことがない者への質問である。東北地方を知らなかったのは、12 名中 3 名、岩手県を知らなかったのは 12 名中 2 名で、ここでは東北地方より岩手県が知られていた。前述したように、台湾の文化人類学の草創期に岩手県の人類学者が活躍したことが関係していると思われる。

・質問 14-6 で、台湾でのメディアの紹介が少ないと答えた者は 16 名中 11 名であった。チャーター便旅行者を対象としたアンケートでも、もっと岩手県を宣伝してよいという意見が書かれていた(原 2015a : 94)。また、岩手在住の台湾人留学生からは、具体的に、宮沢賢治記念館や童話村はおもしろかったが、台湾で宮沢賢治を知っている人は多くないという意見がだされている。こうしたことをあわせて、台湾メディアへの岩手県や東北地方の紹介をもっと検討すべきだと思われる(原 2015b : 100)。

・質問 14-9 で、(冬の)気候の悪い印象があるについては、ちがうが 6 名であった。観光業者から、台湾からの観光客は雪を見ると喜ぶという意見も出されているので、冬を活用した宣伝をもっと行ってもよいと思われる。

・質問 15 で、知っている東北地方の観光地と興味の程度をたずねた。19 あげた項目の中で、行ったことがないが聞いたことがあり行きたいという回答は、青森(ねぶた祭りなど) 12 名、秋田(竿灯祭り) 13 名である一方で、同じ東北夏祭りのある盛岡(さんさ踊り、南部鉄器、わんこそば)では 4 名であった。

同じく弘前(桜祭り)は行ったことがないが聞いたことがあり行きたいという回答は 10 名であった。それに対し北上(展勝地の桜祭り)へは 8 名みられ、こちらはなか

なか健闘しているといえよう。

また、久慈を舞台とした NHK 朝の連続テレビ小説「あまちゃん」は台湾でも放送されたのだが 10 名が行ったことがないが聞いたことがあり行きたいと思っていた。

質問 17 での東北地方や岩手県への印象の自由記述では、台湾と関係の深い場所への興味が高いことがわかった。

5 おわりに

今回、アンケート調査に協力いただいた人たちは、日本へ何度も来て、東北地方や岩手県への訪問経験もある人が少なくなかった。日本や日本以外の海外経験、日本での多くの地域の経験がある人たちも多いことから、こうした人々のアンケート回答を分析することで、岩手県の特徴をより教えてもらえるのではなかろうか。

今回の「2014 年いわて花巻空港台湾便就航に関する調査報告」シリーズでは、台湾の人からしばしば、もっと岩手県や東北を台湾で PR してよいのではないかという意見をもらっていた(原 2015a、原 2015b)。本稿のアンケート調査で台湾メディアでの紹介が少ないことが指摘されており、これらをあわせて岩手県や東北の宣伝についてもっと検討していく必要を感じた。

【参考文献】

原英子

2015a 「2014 年いわて花巻空港台湾便就航に関する調査報告 1—台湾からのチャーター便旅行者を対象としたアンケート調査結果—」『岩手県立大学盛岡短期大学部研究論集』第 17 号

2015b 「2014 年いわて花巻空港台湾便就航に関する調査報告 2—岩手県在住台湾人留学生とのフリーディスカッション報告—」『岩手県立大学盛岡短期大学部研究論集』第 17 号

【謝辞】

本研究は、臺灣國立政治大學で開催された第 7 回日台原住民族研究フォーラム(台日原住民族研究論壇)主催の原住民族研究センターの林修澈所長をはじめとする諸先生方、スタッフの方々、学生のみなさん、フォーラムに参加なさった方々にご協力いただきました。また、岩手県県土整備部空港課の畠山英司さん、環境生活部若者女性共同推進室国際交流員の李楠さんをはじめ、岩手県県土整備部空港課へお世話になりました。

この場を借りて感謝の意を表したいと思います。

本研究は、岩手県立大学地域政策研究センター平成 25 年度地域協働研究(地域提案型・後期)「いわて花巻空港と台湾との国際定期便就航に向けた地域の国際化推進に関する研究」(研究代表者 原英子)の助成によりおこなわれた研究成果の一部である。アンケート調査等の作成は、岩手県県土整備部空港課等との協働によりおこなわれた。